

雪害及び新型コロナウイルスの
感染急拡大を踏まえた緊急要望令和4年度当初予算内示に向けた
重点要望

写真左から 池田代幹、荒巻代幹、近藤団長、西脇知事、山下副知事、能勢政調会長

写真左から 近藤団長、池田代幹、岡西国土交通審議官、能勢政調会長

1月18日、西脇知事宛緊急要望書を知事に提出し、雪害の影響を受けている農業者への対策と新型コロナウイルス感染急拡大への対策を要望しました。

2月7日、自民党議員団の近藤永太郎団長をはじめとする代表団が、国交省にて令和4年度当初予算内示に向けた重点要望活動を行いました。

令和4年度当初予算及び令和3年度2月補正予算 総額1兆834億4,100万円

【命・暮らし・事業を守るコロナ対策】

○命・健康を守るコロナ対策

受入病床の確保等	332億8,000万円
入院待機ステーション(臨時の医療施設)の運営等	5億5,100万円
宿泊療養施設の運営等	60億400万円
自宅療養者の生活支援(自宅療養安心パックの配達等)	7億7,300万円
検査体制確保等	12億9,400万円
医療従事者の負担軽減や特殊勤務手当等の支給支援	5億6,400万円
飲食店の感染防止対策認証制度の運用等	1億円
社会福祉施設の感染防止対策	8億6,800万円
ワクチン接種体制確保事業費(一部補正)	33億8,600万円
飲食店への営業時間短縮に係る協力金等(補正)	171億2,000万円

○雇用・暮らしを守るコロナ対策

地域雇用再生緊急対策事業費	2億3,900万円
学生就職応援事業費	5,000万円
女性活躍総合支援事業費	1億2,500万円
きょうとこどもの城づくり事業費	1億5,200万円
生活福祉資金貸付事業費(補正)	15億6,100万円

○事業者支援・緊急経済コロナ対策

金融・経営一体型支援体制強化事業費	4億4,500万円
中小企業金融支援費	1,566億7,000万円
伝統産業新規展開促進事業費(補正)	3億1,500万円
中小企業等外国人材受入緊急支援事業費(補正)	5,600万円
京都舞鶴港コンテナ物流機能確保事業費(補正)	1,200万円

【府民の安心・安全対策】

○医療・福祉・生活の安心・安全

看護・福祉施設職員待遇改善事業費	39億6,300万円
潜在看護師再就業支援強化事業費	2,500万円
ヤングケアラー支援体制強化事業費	2,700万円
医療のケア児支援強化事業費(一部補正)	5,400万円
発達障害児支援医療・福祉・教育等連携強化事業費	500万円
児童虐待総合対策事業費	1億5,200万円

○防災・減災・国土強靭化による安心・安全

危機管理センター整備費	1億円
安心・安全基盤、道路整備による強靭化(一部補正)	722億9,900万円
JR奈良線複線化・高速化整備事業費	33億2,500万円

○大雪被害対策

雪害対策費(補正)	4億2,500万円
-----------	-----------

【子育て・教育環境の充実】

○子育てにやさしい風土づくり

子育てにやさしい風土づくり推進事業費	3,800万円
子育てにやさしい職場づくり事業費	8,200万円
○子育てしやすいまちの実現	

○子育てにやさしいまちづくり事業費

妊産婦包括支援事業費	1億5,000万円
不妊治療給付等事業費	5,600万円
未入園児保育支援事業費(2歳児育て支援利用料減免)	3億7,400万円
あんしん修学支援事業費(学費軽減同時に学加算)	2,300万円
京都式「教育DX」推進事業費(一部補正)	7億4,800万円
私立高等学校ICT環境整備支援事業費	4,700万円

○文化振興と魅力ある地域づくり】

新行政棟・文化庁移転施設整備費

文化芸術発信強化事業費	35億5,600万円
日本館ルネサンス事業費	1億7,500万円
「移住するなら京都」推進事業費	8,500万円
アート&テクノロジー・ヴィレッジ整備事業費(補正)	2億5,100万円
京ものプラント総合戦略事業費	4億円
林業・木材産業等振興施設整備事業費(補正)	1億6,200万円
海洋調査船建造費	4億1,300万円
畜産センター碇高原牧場	11億1,000万円

政務調査活動

よりよい京都府を実現するため、各地を調査、様々な団体との勉強会や意見交換会を行っています。感染症対策に留意しながら3班体制で管内現地調査を行いました。



2月定例会での質問項目の一部抜粋です。※京都府議会のHP (<http://www.pref.kyoto.jp/gikai/index.html>)で録画中継をご覧ることができます。

①府政運営の総括と決意②感染症対策

③新年度予算案④京都観光の復興⑤文化庁

⑥社会基盤整備⑦交通安全⑧府市協調

・WITHコロナ・POSTコロナ社会における中小企業支援策
・国土強靭化を推進する河川・道路整備は
・農業・畜産振興施策は

▲中小企業対策で創設した無利子・無担保・無保証料の融資制度を含め、本府も施策を総動員で対応、しかし、厳しい状況にある企業が多く、返済が不能を予測、返済期限延長の保証料を含め国に求めるべき。
▲桂川整備について、大戸川ダム事業の再開によって、桂川改修等の遅れを危惧する声を聞くが大丈夫か。桂川の安全度は淀川水系で最も低いとされており今後の対策は。
▲京都縦貫自動車道や国道9号老ノ坂は、豪雨や大雪等で頻繁に通行止め、縦貫自動車道は雨量基準300mmまで通行可能、老ノ坂は230mmに留まっている。通行止めをなくすため、国道9号の4車線化やトンネルで通過するWルートについて。
▲新たなブランド木「京式木」の生産増加策の考えは。
▲畜産振興について、収益力向上と生産基盤強化が必要と考えるが。

「府立農大に農業スペシャリスト育成の新たなコース創設」と知事が答弁! 教育長は「綾部高校の充実」を明言!

○創立100年を迎える、府立農大のさらなる振興策を問う!
知事答弁「農業高校の卒業生などを農業のスペシャリストとして育成するため、高度な農業技術や法人経営に必要なスキルが身につく新たなコースの創設が必要。農大の強化のために農林水産技術センターや企業・大学との幅広い連携も必要であり、「農大のあり方検討会」に新たな専門家を加えて議論を深めていく。」
○綾部高校の特進コース、スポーツ総合選手のさらなる充実!
教育長答弁「特進コースは今春からグローバル特進コースとなり、文理の枠を超えた人材育成を強化する。綾部高校は府北部のスポーツ振興の中核校として施設設備も計画的に整備・更新する。」
○他にも児童相談所の第三者評価、警察の車両強化について質問。

1.府有資産有効活用(西七条元府立図書館跡地と元堀川署跡地)について
2.鴨川の中州・寄州の除去について

府立図書館仮設跡地の活用を図る上で大事な事があります。一つには保育や介護や地域の方々が喜んで頂ける様な施設にすること、二つにはスピード感をもって早くすることが求められます。同時に利便性の高い元堀川署跡地の活用と検討状況はどうか。
鴨川は1200年以上の長さに渡り、絶え間なく流れてきたわけであります。今もなお山紫水明の象徴として愛されております。春になりますと北山大橋や七条大橋から川上・川下を見ると桜があちらこちらに咲き乱れ素晴らしい景色であります。しかしながら雑草が繁茂してゴミが溜り美しい景観が損なわれております。鴨川の魅力をより高めるために私が主張しておりますよう、中州・寄州の適正な除去を行い、鴨川を舞台としてイルミネーションやライトアップなどを実施し、鴨川がより夢のある幻想的な空間となるよう取り組むこと。



①消防団の活性化②ナイトツーリズムの推進③警察のデジタル化④いろは呑龍トンネル⑤アリーナの整備

①消防団員の防災士資格の取得促進は?
②「わがまちの消防団強化交付金」の活用等で財政支援を行う。
②(京都・花灯路)終了後のネクストステージでは、府域並びに関西全体でナイトツーリズムを盛り上げるべき!
③関西広域連携ともナイトツーリズムを発信する等、京都府域への周遊や滞在に繋がる取組をする。
③全国初の「犯罪防衛システム」の導入効果は?
④香川の南幹線工事の進捗と効果は?
⑤令和5年度末までの完成を目指す。10年に一度の降雨も対応できる。
⑤京都の公共体育馆数は全国で38番目の低水準。新設の検討状況は?
⑥大学の意見を基本に、府民のスポーツ環境向上及び多目的利用や地域活性化、災害時の拠点の機能も検討する。



1.府消防体制整備推進計画に基づく消防体制の強化について 2.中学校運動部活動の地域移行と受け入れ体制について

①令和6年4月からの共同運用を目指す京都府中・北部消防指令センターの進捗状況と課題の対応は。運用主体は各市町であるが、府としてどのように関わっていくのか。消防団員確保に向けた取り組み状況と成果は、国が求める消防団員の報酬引き上げ等の改善について府内各市町村の状況は、活動しやすい環境づくり、消防団員、協力事業所等の具体的なメリット創出などの働きかけや財政支援は。
②令和5年度以降の休日の部活動の段階的地域移行に向け、人材や費用、運営団体の確保など、舞鶴市と京丹波町で実践研究を進めているが、進捗状況や今後の方向性は。地域移行を進めるこの機会は、会員や財源の確保、指導者育成など様々な課題を抱える総合型地域スポーツクラブの普及推進を図